

＜発行＞
 特定非営利活動法人
 飯能市体育協会広報委員会
 （飯能市民体育館内）
 ＜発行日＞
 平成21年11月1日



躍は心の重動

YAKUDO Hanno

飯能市運動施設の指定管理者に 指定される

平成21年4月より
業務開始

飯能市体育協会は、平成十九年三月に特定非営利活動法人（略称NPO法人）の認証を取得しました。この法人化の主な目的は、将来飯能市でも運動施設に対して導入が予想される指定管理者制度に対応するため、と年々厳しくなる協会財政の基盤を強化するため体制及び組織を強化することでした。

平成十九年四月には事務局を市教育委員会体育課より引き取り、市民体育館二階に事務室を開設し自立に向けて第一歩を踏み出しました。法人格取得後二年半を経過しましたが、初めての経験が多く試行錯誤の連続ですが、役員の努力と会員の皆様のご協力により今日を迎えることが出来ました。この二年間の主な活動結果について要約して報告させていただきます。

財政基盤の強化について

将来のスポーツ振興事業に加えてその他の事業（物品販売業）が出来るよう定款に定め、自動販売機を中心とした飲料の販売を始めました。未経験の分野ですが少しずつ実績も出てきております。加えて新たな体制のもと広く賛助会員のご協力をお願いし現在四十八社（含個人）のご支援をいただいております。結果として年度の決算で見ると、平成十九年度への繰越額が約九十万円であったが、二十年度へは約百九十万円、二十一年度へは約二百八十万円と着実に改善されていると考えられます。



指定管理者業務について

指定管理者制度については、平成二十年九月に飯能市運動施設十一施設について導入されること決定されました。当協会としてもこの事を予測し前々から準備してきた事業計画書をまとめ申請しました。そして飯能市指定管理者選

定委員会の審査を受け、飯能市議会の承認を経て十二月末に指定管理者の指定を受けました。指定管理者としての業務開始は平成二十一年四月一日よりと決まり、体育課との間で一月より急遽業務引継ぎを開始し、多少問題を残しながらも予定通り業務を開始することが出来ました。これにより平成二十一年度の飯能市体育協会の業務は、スポーツ振興事業と運動施設の管理運営事業及びその他の事業の三部門となり、事務局及び管理運営事務室スタッフも増え、法人としての経営が本格化してきました。これからの正念場です。会員及び市民の皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

具体的な運営体制などについては四・五ページに掲載していますのでご参照下さい。



「躍動はんのう」発刊によせて



飯能市議会議長
加 涌 弘 貴

飯能市体育協会の創立は、戦争の荒廃から国を挙げて復興に向かう昭和二十四年八月に、スポーツを愛する方々のご尽力により誕生し、その後幾多の困難を乗り越え、全国大会や国際大会への選手を派遣するなど、スポーツの振興と健康増進に大きく貢献されました。本年度創立六十周年を迎え、ここに「飯能市体育協会創立六十周年記念誌」を発行されましたことは、誠に意義深いことであり、関係各位の弛まぬご尽力の賜物と深く敬意を表するとともに、飯能市議会を代表して心よりお祝い申し上げます。

近年で記憶に残るところでは、平成十六年に第五十九回国民体育大会「彩の国まごころ国体」ホッケー競技が開催され、成功裏に終了することができたこと。また、毎年開

催されます奥むさし駅伝競走大会、飯能新緑ソーデーマーチでも、貴協会が中心となり大きなイベントに成長させて下さったご尽力に心から感謝申し上げます。

平成十八年には広報紙「躍動はんのう」を刊行。さらに平成十九年二月、スポーツの振興や競技力の向上に関連する事業を行い、スポーツの健全な普及発展に努め、明るく健康なまちづくりとスポーツ文化の発展に寄与することを目的に、N.P.O法人格の認証を受け、「特定非営利活動法人飯能市体育協会」を設立されました。

平成二十一年四月からは、都市公園運動施設管理・運営を県内で初めて指定管理者として新たな事業展開を開始され、貴協会の果たす役割は大きく、今後の躍進を期待しております。今後とも市民の健康増進に向けてご尽力賜りますようお願い申し上げます。

新事業第1号
硬式テニスに親しむ日
レッススイベントを開催

九月十二日(土)美杉台公園テニスコートにおいてN.P.O法人飯能市体育協会の主催として、本年ITF世界ベテランテニス選手権大会日本代表であり、文部科学省テニス教師の資格を持つ、土橋直樹コーチ(飯能市在住)による「硬式テニスに親しむ日」レッススイベントが行われ、開会に先立ち、利根川亭会長からも「今年度からの指定管理者事業に伴う体育協会の新事業としての第一号として成功してほしい」という挨拶をいただきレッススがスタートした。

内容は、親子・初心者が午前の部、初級・中級が午後の部の二部制で行われた。親子のペアも四組あり、小学一年生から四年生の子供たちも、お母さんと一緒にテニスを楽しんでいました。ほとんどがプロのレッスンは初めてであり、マンツーマンの指導を受け喜んでいました。

このイベントが、今後も育って欲しいと願うとともに、テニスが市民スポーツとしても発展できるよう期待したいと思う。



親子・初心者の皆さん



初級・中級者の皆さん

地区体育協会だより

東吾野地区

元気ある事業の展開を目指す！

東吾野体育協会は、小野正会長の下、体育指導員を含む役員16名で地区体育祭の開催、地元を中心に多くの選手・チームが参加して開催される奥むさし駅伝競走大会への協力。公民館や各種団体と連携し、市で推進している健康づくり事業の一環として地域を歩こうをテーマにしたハイキングや子供から高齢者までを対象としたグラウンドゴルフ大会を行うなど、地域に密着した事業を実施しています。現在、少子高齢化による子供の減少で、体育祭で子供を対象とした年齢別で競う種目では、対象となる年齢層がない地区が増えてきている状態ですが、協会全体で協議し、元気ある事業を展開していきたいと考えています。



第4回 こんなことやつてまうあ！

原市場地区

地域活性化の一翼を担って！

原市場体育協会では年間を通して8事業を展開しています。その内容は、小学生を対象としたスケートの集い、奥武蔵駅伝へのチーム出場、参加者を募って行なうグラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、ソフトバレー大会。協力事業としては、原市場まつりで子供広場コーナーを担当したりツアーデーマーチでの接待所運営など。最後に地域全体を対象とした地区体育祭ですが自治会の全面的な協力を頂いて毎年10月に実施しています。地区を4地区に分けて、自由参加種目を間に挟み対抗種目で順位を競い合い、参加者は2000名にも及び地域のコミュニケーションの場として重要な事業として定着しています。

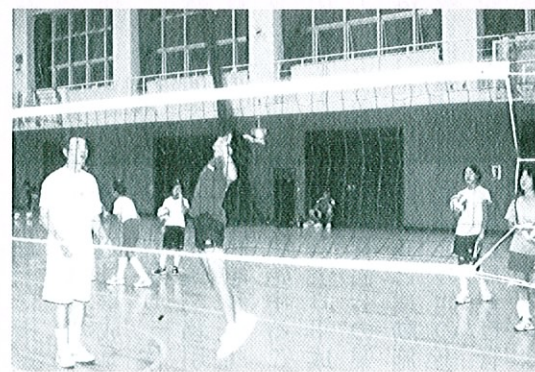


飯能バレーボール連盟

飯能バレーボール連盟は、昭和29年5月に飯能地方のバレーボール発展を目的として発足し、バレーボール普及・振興に努めています。

現在は一般8団体、家庭婦人12団体の20団体が連盟に登録し、一般、家庭婦人ともに毎年、春と秋の年2回大会を開催しております。

平成11年には「飯能ジュニアバレーボールクラブ」を発足し、毎月第1、第3土曜日に、聖望学園体育館にて小学生の子どもたちがバレーボールの練習に励んでおります。



競技団体紹介

シリーズ第3回

飯能市山岳連盟

飯能市山岳連盟は、昭和28年4月に市内の山岳会8団体をもって結成し現在に至っています。

連盟の主な事業は、市民に安全で健全な登山を奨励するための市民登山(登山者の憧れの山、景色が美しい山を選び、山小屋泊まりで1泊2日の登山を実施)奥武蔵自然公園の自然保護とハイカーの事故防止・モラル向上を目的とした自然公園内のパトロール、奥武蔵自然公園の自然保持のためのハイキングコースの清掃を行っています。また、飯能まつり等、市行事への協力も積極的に行っています。



指定管理者としての飯能市体育協会の業務紹介

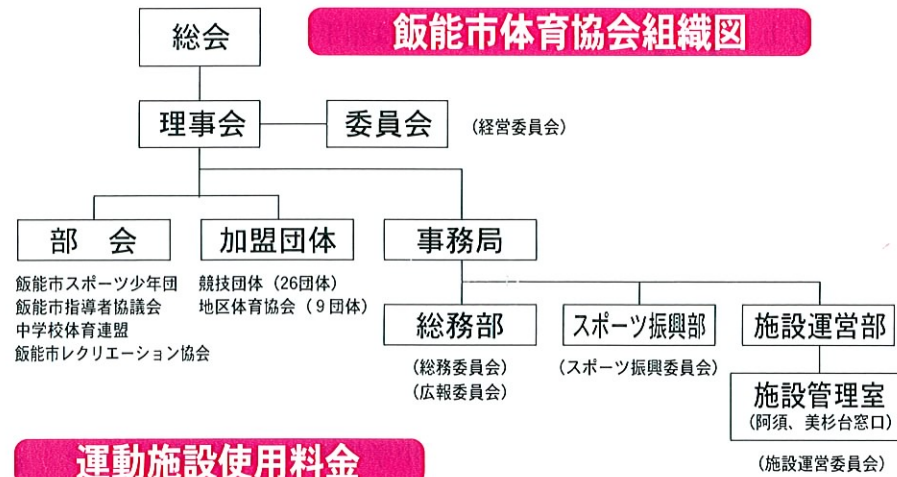
市運動施設(11施設)を積極的に利用しましょう!

阿須運動公園施設：飯能市民体育館・飯能市民球場・ホッケー場・テニスコート・ソフトボール場
サッカー場・野球場の7施設

岩沢運動公園：多目的グラウンド

美杉台公園運動施設：多目的グラウンド・野球場・テニスコートの3施設

当協会は、永く施設利用者である加盟団体及び市民の皆さんの立場に立って協力してきました。今年4月1日より飯能市民プールを除く11施設の管理運営業務を、市営運動施設の指定管理者として運営できる体制となりました。今まで以上に利用者の皆さんに、気軽に、何時でも、気持ち良く利用していただくよう努力してまいりますので、健康維持、スポーツ技術向上のために積極的に運動施設を利用されますようご案内いたします。そのための体制づくりとして業務範囲、組織ともに急激な拡大をいたしましたので、現在の組織・運営内容について紹介をさせていただきます。



市民体育館内阿須事務所窓口で申込む利用者

運動施設使用料金

施設名	利用内容	利用方法	利用区分	利用対象者	基本料金	備考
メインアリーナ	アマチュアの体育、スポーツ又はレクリエーション(以下「体育行事」)に利用する場合	専用	全面	一般	1200円	バスケットボールコート 2面 バレーボールコート 2面 バトミントンコート 8面 インディアカコート 8面 テニスコート 2面 卓球台 25台
				中学生以下	600円	
			半面	一般	600円	
				中学生以下	300円	
1/4面	一般	300円				
	中学生以下	150円				
体育行事以外に利用する場合	平日	専用	全面		2500円	
	土日祝	専用	全面		5000円	
サブアリーナ	体育行事に利用する場合	専用	全面	一般	600円	<武道> 柔道・剣道・空手道・剣道 なぎなた・銃剣道等 <健康体操等> バレーボールコート 1面
				中学生以下	300円	
			半面	一般	300円	
				中学生以下	150円	
体育行事以外に利用する場合	平日	専用	全面		1300円	
	土日祝	専用	全面		2600円	
弓道場		共用	団体	一般	500円	5人立
			個人	一般	100円	
卓球場		共用	団体	一般	500円	卓球台8台
				中学生以下	250円	
			個人	一般	100円	
				中学生以下	50円	
トレーニング室		共用	団体	一般	500円	各種トレーニング機器
			個人	一般	100円	
選手控室		専用			100円	選手、役員 20人
会議室1		専用			100円	会議、研修会等 25人
会議室2		専用			200円	会議、研修会等 60人
放送設備					100円	
更衣ロッカー					1回	50円
温水シャワー					1回	100円

市民体育館

総会

最高決定機関であり、4部会・35加盟団体より選出の各団体2名の正会員と会長委嘱の18名の正会員、計96名で構成されています。

理事会

NPO法人の役員会です。理事28名、監事2名で構成されています。

事務局

実務(協会事務)を担当する部門で市民体育館2階に事務所があります。常勤の職員が勤務し、総務部・スポーツ振興部・施設運営部のいずれかに所属しています。

総務部

当協会の総務・人事・会計・広報及び所属団体関連事務を担当。

スポーツ振興部

スポーツ関係で市より受託事業・協力事業・健康づくり事業や自主事業で奥武蔵中学校駅伝競走大会などを担当。

※指定管理者とは

公の施設を外部に管理委託する場合、地方自治法で委託できる団体として地方公共団体が出資した法人(所謂第3セクター、施設管理公社等)、公共団体、公共的団体(農協、生協、自治会等)に限定されていました。平成15年に民活活用を目的として地方自治法の改正が行われ、民間の法人、団体(個人は不可)でも管理ができるように(3年の経過措置を経て)となりました。地方公共団体の定めた手続きにより申請し、審査を受け、議会の承認を受けて決定されます。この制度を指定管理者制度といい、認定された団体を指定管理者といいます。

施設運営部

運動施設の管理運営業務(指定管理者業務)を担当。実務担当部門として施設管理室を市民体育館1階に設置。利用者対応窓口及び担当施設は次の通りです。

阿須事務所窓口(市民体育館1階、TEL042-972-6506)

※阿須運動公園、岩沢運動公園の8施設を取扱い

※受付時間/午前8時30分~午後9時まで

休業日除く毎日

※休業日/月曜日、月曜日が祝日の場合翌日

美杉台事務所窓口(美杉台公園管理棟内、TEL042-972-1758)

※公園運動施設3施設を取扱い

※受付時間/午前8時30分~午後9時まで

休業日除く毎日

※休業日/月曜日、月曜日が祝日の場合翌日

委員会

経営委員会、施設運営委員会、スポーツ振興委員会、総務委員会、広報委員会の5委員会があります。委員会は理事により編成され、全ての理事がいずれかの委員会に所属して、担当するそれぞれの部門の事業をサポートしております。

市民球場

施設名	利用内容	利用方法	利用区分	利用対象者	基本料金	備考		
							(1時間当り)	
グラウンド	体育行事に利用する場合	専用	全面	一般	1500円	ダッグアウト、更衣室及びスタンドを含む		
				中学生以下	750円			
			体育行事以外に利用する場合	平日	専用			3000円
				土日祝	専用			6000円
照明設備			全灯		8000円			
			1/2灯		4000円			
スコアボード		専用			500円			
放送設備					100円			
更衣ロッカー			1回		50円			

阿須運動公園ホッケー場

施設名	利用内容	利用方法	利用区分	利用対象者	基本料金	備考
グラウンド	体育行事に利用する場合	専用	全面	一般	1600円	児童・生徒は半額
				中学生以下	800円	
			半面	一般	800円	
				中学生以下	400円	
体育行事以外に利用する場合	平日	専用	全面		3500円	屋外照明施設は除く
	土日祝	専用	全面		7000円	
照明設備		全点灯	全面	一般	2000円	屋外照明施設は除く

美杉台公園関係

施設名	利用内容	利用区分	利用対象者	基本料金	備考
野球場		全面	一般	200円	児童・生徒は半額
庭球場		1面	一般	400円	児童・生徒は半額
多目的グラウンド		全面	一般	1200円	児童・生徒は半額
		半面	一般	600円	
照明設備		全面	一般	1000円	屋外照明施設は除く

※詳しいことは、市民体育館内阿須事務所窓口にお問い合わせ下さい。TEL042-972-6506

第91回全国高校野球大会

甲子園観戦記

聖望ナイン、甲子園までありがとう!

8月13日甲子園球場、台風9号の影響で2日間延びた第91回全国高校大会の第4日目の第3試合、埼玉県代表として地元飯能の聖望学園が宮崎県代表、都城商業と対戦。前の試合が早く終了したため、予定より15分早まり午後1時15分にプレーボール。

応援バスが20台(生徒13台、一般・保護者7台)と聞いていたため、応援席の空席が目立つのか、と心配したが、予想に反しリニューアルし、きれいになった一塁側のアルプススタンドは満席でした。妻と二人座る場所を探すのがやっとでした。

試合は1回の表、都城商の攻撃、エース佐藤投手が1番バッターにデッドボール、以後送りバント、四球、タイムリーヒット内野安打、2塁打と立ち上がりを攻められ、あっという間に4点のビハインド。結果は5対1で試合終了。終ってみれば初回の攻防が試合を決めてしまったとも言えます。

聖望学園は残念ながら、初戦に勝つことはできませんでしたが、99年に初出場して以来、春・夏通算4回の出場という輝かしい歴史を築きました。この力は今後にかされ、ますます強いチームになるだろうと期待されます。そして、アルプススタンドで最後まで必死に応援していた、野球部、ダンス部、音楽部の部員をはじめとする聖望学園の生徒、多くの市民の方々の姿が印象的でした。(岡部記)



1塁側アルプススタンドで応援する聖望関係者

飯能市スポーツ少年団

スポーツ少年団は全国に90万人もの団員をかかえる青少年スポーツ団体としては国内最大の組織としてスポーツ振興を語る上でなくてはならない存在となっている。(埼玉県は約6万人の団員がおり全国1位)飯能市にも28団、1,127人(7/23現在)の団員が活動している。少子化やニーズの多様化によりスポ少への入団率がおよそ4人に1人(約26%)と最盛期からは大分減少したものの、すべての小学校に存在している。

活動は団体競技(野球、サッカー、ミニバス、ホッケー等)が中心で、1校ではチームとしての活動ができず、近隣の小学校と合同での活動が一般化してきた。今後もこの傾向は続くと思われるが地域社会の教育力低下や学校運動部活動の衰退が語られる中、今後益々スポ少活動に対する期待が高まるのではないかと予想される。

以下に現在本部が行っている3大行事を紹介します。

スポーツ少年団大会(通称・スポ少運動会)



駅伝大会(奥武蔵駅伝スポーツ少年団交流大会)



高萩市友好都市交流大会



飯能高校女子ホッケー部

昨年、飯能市を会場に開催された全国高校総体から早くも1年が過ぎ、今年は奈良県天理市において開催されました。

この大会に出場するための関東ブロック予選が6月飯能市において開催され、男子は飯能南高校が2位、女子は飯能高校が3位で通過し、出場権を獲得し全国高校総体に挑みました。

今年の大会は良い環境の中で試合をさせたとの奈良県実行委員会の配慮で、メイン会場が天理大学親里ホッケー場、そして他の2会場は大阪の長居球技場、舞洲多目的グラウンドの人工芝グラウンドを使用して行われました。印象として、各会場が分散し、他会場への移動も約1時間かかり昨年に比べ盛り上がりには欠けた大会でありました。

大会は8月7日に初戦を迎え、飯能高校女子は強豪岩手県不来方(こずかた)高校との対戦となり、飯能高校女子チームは前半立ち上がりから攻勢にゲームを進め、3分にP.Cから関口がタッチし先制。続く24分、濱中がドリブルで持ち込みゴールキーパーを引き付け絶妙のパス、これを大野綾華が決め主導権を握ったかに見えたが、後半に入り不来方高校も地力を発揮し惜しくも2対3で敗れた。しかし、強豪との試合を通じ、手応えは十分にあり、今後の活動に期待できる貴重な経験となりました。



飯能南高校男子ホッケー部

今年度のインターハイ・ホッケー選手権大会は、8月7日から天理大学親里ホッケー場と大阪市内の2会場で開催されました。長居球技場での初戦で石川県の富来高校を3対0で制した後、翌8日の2回戦は、昨年の地元飯能での大会の準優勝校、伊吹高校との対戦となりました。会場はUSJ近くの舞洲。勝利すればベスト4への期待が大きく膨らむ一戦とあって、気合い充分で臨んだはずでしたが緊張のためか試合開始直後から足が動かず、前半を終えたところで1対3とリードを許してしまいました。ところが、後半に入ると見違えるように積極的なプレーを取り戻し、開始わずか5分で2点を奪取して一気に同点に。しかし、ここからは相手の守備に阻まれ、55分に与えたペナルティーコーナーからの失点が試合の結果を決めることになりました。残念ながら、昨年のベスト8を超える戦果を残すことはできませんでしたが、1回戦での転倒の際に左肩鎖骨を骨折していた主将毛利がゴールを決めるなど、6人の3年生の健闘が大いに光る結果となりました。

今、チームは新人戦を見据え、1・2年生14人による活動がスタートしたところです。この夏は、地元中学生チームの活躍のニュースも伝えられています。来春にはまた新しい力を結集し、さらに大きな目標に向かって邁進してほしいと思います。



体協では各種スポーツ教室を開催しています

スポーツ教室探訪

体育協会では飯能市と委託契約を結び、各種スポーツ教室を開催しています。各種団体の教室開催は随時「広報はんのう」に掲載されます。

飯能市ゴルフ協会主催、飯能市及びNPO法人飯能市体育協会、株式会社大塚家具後援のジュニアゴルフ教室が今年も開催されました。「広報はんのう」で公募しましたが、5回目となる今年は定員25名に対し30名を越す応募がありました。石川遼プロの影響もあるのかと、役員一同うれしい悲鳴を上げました。7月28日から8月24日まで8回のレッスンで開催しました。

受講生は、小学2年生から中学3年生までの男子18名、女子7名の合計25名。受講生の中には、初めてゴルフクラブを手にする生徒さんが数人いましたが、島田明コーチの指導のもと、終了時には全員実力をアップし元気に終了することができました。受講内容は、最初にストレッチ体操、続いてアドレス、グリップ、体の動かし方など親切に指導。その後、各自ドライバーやアイアンの好きなクラブでボールを打ちました。最初は空振りもありましたが、回を重ねる毎に上手になり飛距離も出るようになりました。

藤井穂乃花さん(美杉台小2年生)は「これだけ練習したのは初めてです。すごく楽しかった」と。また、聖望中3年生の島田真由さんは「今まで直せなかったところを直してもらって良かった」と感想を述べていました。

島田コーチをはじめ、アシスタントとしてお手伝いいただいた、飯能市ゴルフ協会研修部会の角理恵子さん、紫藤恵夫さん、青木恵子さん、武田久美子さんに御礼申し上げます。

ジュニアゴルフ教室



飯能市体育協会賛助会員

(平成21年3月現在・敬称略順不同)

- | | | | |
|----------------|-------|-------------|-------|
| 飯能ケーブルテレビ(株) | 和泉由起夫 | 松下製作所(株) | 松下光一 |
| 新電元工業(株) 工場長 | 浅野 昇 | サンエス堂スポーツ店 | 増田幸三 |
| 大黒屋(有) | 山影 慎 | 青木葬祭(有) | 青木利男 |
| エーステック(株) | 梅本裕昭 | イシイプロセス巧芸 | 石井定雄 |
| (株)金子組 | 金子堅造 | 魚福商店 | 小久保勝弘 |
| (有)シャディ宣広社 | 土屋雅之亮 | 奥むさし旅館 | 中 義博 |
| J A いるま野 | | (株)柿沼商店 | 柿沼敏夫 |
| 西武ガス(株) | 細田勝夫 | 高麗川防災(有) | 和田俊司 |
| (株)ヒジメイルド暖らん専務 | 大野厚哉 | 四里餅商事 | 宿谷榮一 |
| 中央商事(株) | 田辺 實 | 新鋭産業(株) | 近藤達夫 |
| 日豊鉱業(株) | 豊田義継 | 清河園 | 増岡利和 |
| 飯能資材(株) | 細田伴次郎 | 東京ゴルフ商会(株) | 島田 均 |
| 飯能自動車学校 | 沢辺亮一 | 飯能窯 | 虎澤英雄 |
| (有)飯能清掃センター | 齊藤 実 | 飯能第一ホテル | 武居芳明 |
| 飯能ニッサン自動車(有) | 市川洋太郎 | (株)ピーアール | 馬場正春 |
| (株)椿本チエイン工場長 | 藤原 透 | 堀田屋クリーニング商会 | 佐伯孝之 |
| 武蔵工業(株) | 入子晃一 | 矢島工務店(株) | 矢島 巖 |
| スポーツショップモスト | 井上順徳 | 矢島建設(株) | 矢島高明 |
| (株)マイムコーポレーション | 若月啓作 | 山下スポーツ(有) | 樋口敬男 |
| (株)文化新聞社 | 吉田鉄之助 | 吉島会計事務所 | 吉島一良 |
| (有)飯能ハリカ | 島田秀和 | リボンハウス | 野口正之 |
| (株)ジャンボ | 岡部秀司 | ビジネスホテルおがわ | 小川久雄 |
| 飯能精密工業(株) | 中山佳生 | 佐瀬病院 | 佐瀬 洋 |
| 飯能生コン工業(有) | 宮寺治貞 | 進藤良人 | |